



2005年3月期 第3四半期 業績概要

2005年1月27日
アンリツ株式会社
社長 塩見 昭

(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)

第3四半期の総括

1. 第3四半期業績(連結)(4~12月)は、ほぼ計画どおり

売上:567億円(対前年同期比+12%)

営業利益:21億円(対前年同期比+30億円)

経常利益: 2億円(対前年同期比+50億円)

2. 売上動向

事業別:計測器は対前年同期比19%UP

(主に日本市場の移動通信用計測器が牽引)

地域別:日本は対前年同期比17%UP

3. 通期業績見通し

第4四半期 情報通信セグメントの売上減少を予測

連結売上850億円 (15億円減)

営業利益および経常利益は年初計画を予定

第3四半期業績概要(1)

(1)損益およびキャッシュ・フロー 単位:億円 ()は前年同期比増減額 △:損失

	当第3四半期(4~12月)		前第3四半期	
	連結	単独	連結	単独
売上高	567 (+59)	314 (+38)	508	276
営業利益	21 (+30)	3 (+23)	△ 10	△ 20
経常利益	2 (+50)	0 (+44)	△ 48	△ 44
税引前利益	1 (-3)	2 (-6)	4	8
当期純利益	△ 1 (0)	3 (-2)	△ 1	5
FCF	42 (-13)	10 (-23)	55	33

(2)事業セグメント別(連結) 単位:億円 ()は前年同期比増減額 △:損失

	当第3四半期(4~12月)		前第3四半期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
計測器	398 (+62)	24 (+25)	336	△ 2
情報通信	35 (-18)	△ 10 (-3)	53	△ 7
産業機械	84 (+6)	6 (+4)	78	3
その他	49 (+9)	0 (+4)	40	△ 4
計	567 (+59)	21 (+30)	508	△ 10

第3四半期業績概要(2)

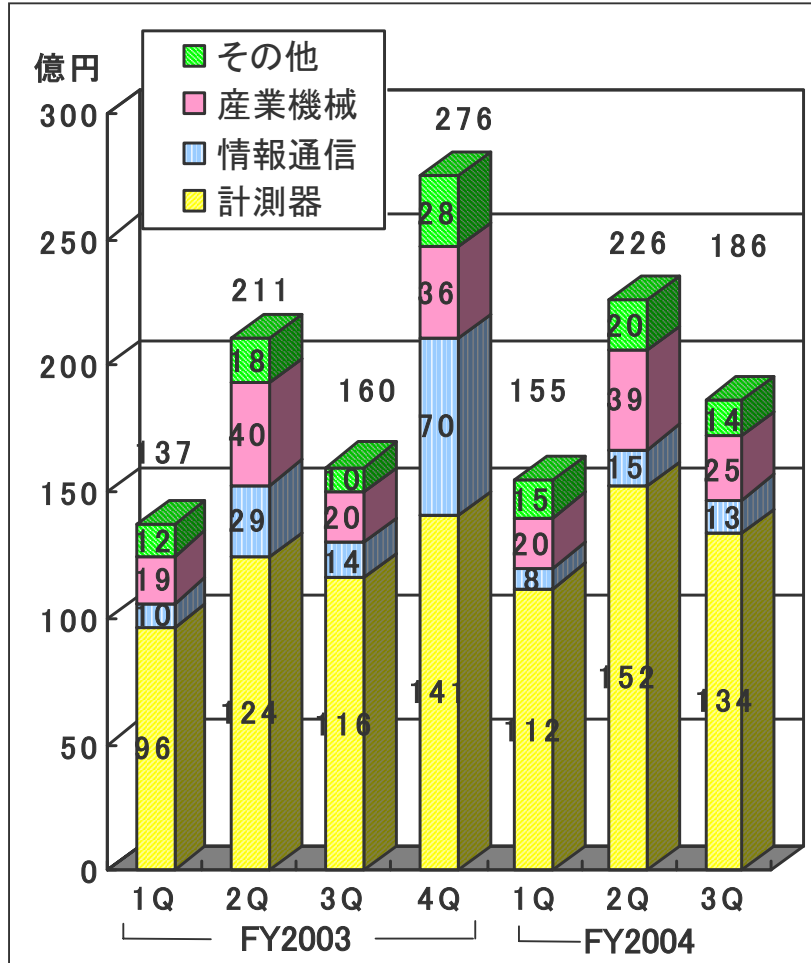
(1)損益およびキャッシュ・フロー 単位:億円 ()は前年同期比増減額 △:損失

	当第3四半期(10~12月)				前第3四半期	
	連結		単独		連結	単独
売上高	186	(+26)	105	(+23)	160	82
営業利益	13	(+16)	7	(+13)	△ 3	△ 6
経常利益	7	(+21)	8	(+19)	△ 14	△ 11
税引前利益	9	(+23)	8	(+19)	△ 14	△ 11
当期純利益	8	(+22)	9	(+20)	△ 14	△ 11
FCF	3	(+39)	△ 1	(+43)	△ 36	△ 44

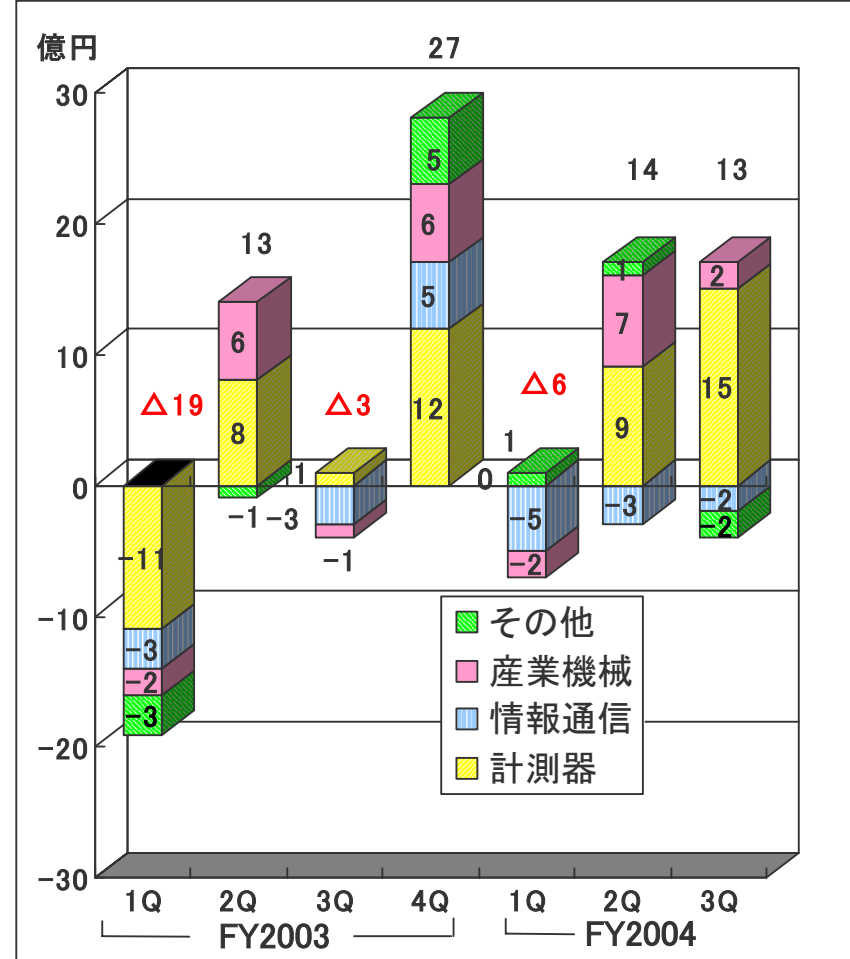
(2)事業セグメント別(連結) 単位:億円 ()は前年同期比増減額 △:損失

	当第3四半期(10~12月)				前第3四半期	
	売上高		営業利益		売上高	営業利益
計測器	134	(+18)	15	(+14)	116	1
情報通信	13	(-1)	△ 2	(+1)	14	△ 3
産業機械	25	(+5)	2	(+3)	20	△ 1
その他	14	(+4)	△ 2	(-2)	10	0
計	186	(+26)	13	(+16)	160	△ 3

事業セグメント別業績(連結)

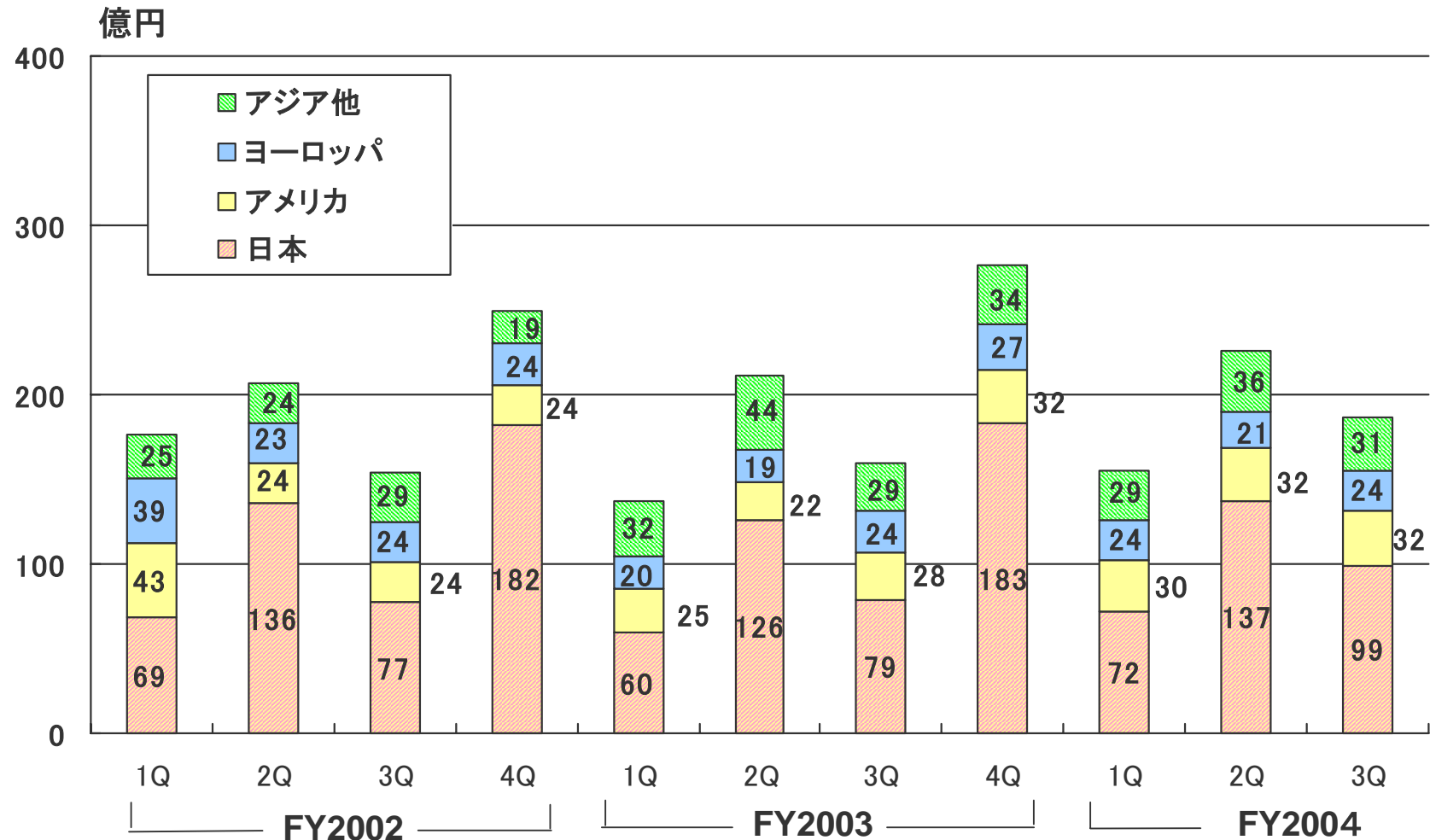


売上高



営業利益

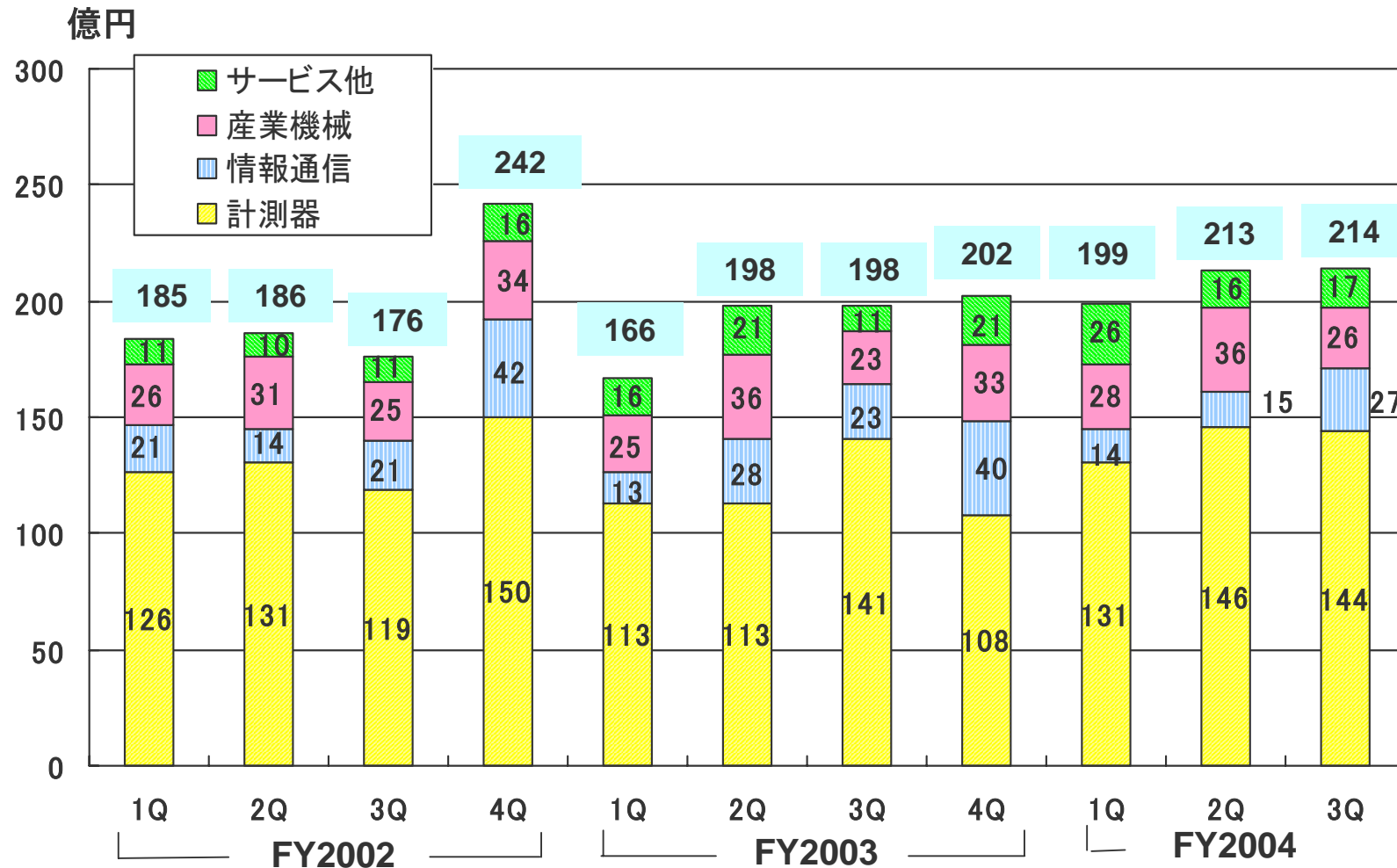
地域別売上高推移（連結）



Discover What's Possible™

Anritsu

セグメント別受注推移（連結）



営業外・特別損益概要

(連結)

(百万円)

	当第3四半期 (4~12月)	前第3四半期 (4~12月)	差額
営業利益	2,057	△958	3,015
金融収支	△ 645	△778	133
棚卸資産廃棄等	△ 1,052	△2,375	1,323
為替差損益	△ 100	△413	313
その他	△ 70	△325	255
営業外損益計	△ 1,867	△3,891	2,024
経常利益	191	△4,849	5,040
退職給付関係			
棚卸資産評価損等			
固定資産売却損益等	△ 15	4,857	△ 4,872
その他	△ 37	350	△ 387
特別損益計	△ 52	5,208	△ 5,260
税引前利益	138	359	△ 221

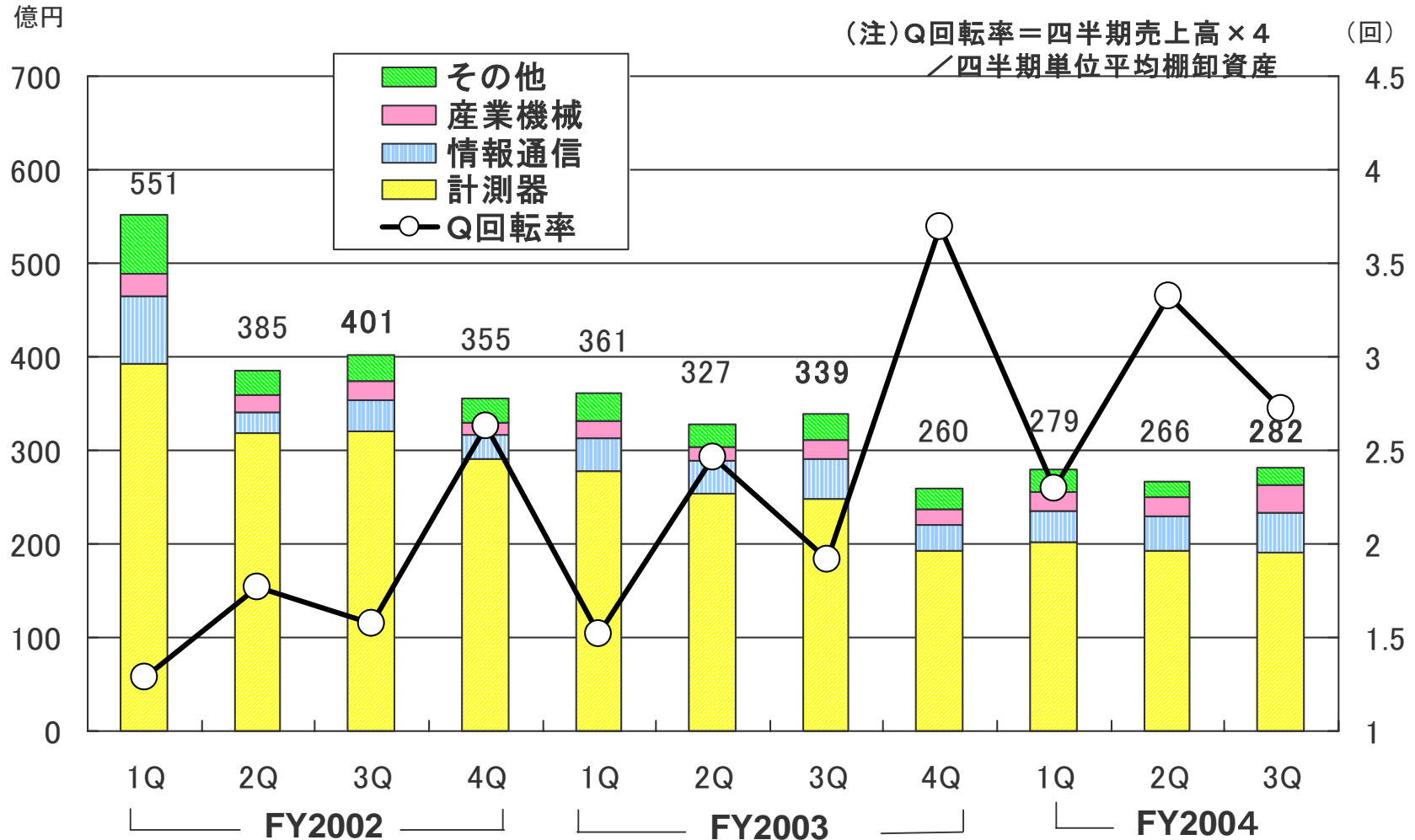
キャッシュ・フロー計算書(連結)

	当年度4~12月	前年度4~12月	FY2003
1. 営業活動によるCF	47	16	60
税引前利益	1	4	19
減価償却費	29	34	44
固定資産売却損益	1	△46	△40
運転資本計	5	31	68
売上債権	33	25	△24
棚卸資産	△22	9	87
仕入債務(ファクティング含む)	△6	△3	5
退職給付費用関連	8	12	△11
法人税等	△9	5	△0
2. 投資活動によるCF	△6	40	44
有価証券・投資有価証券	0	△6	1
設備投資	△10	△11	△13
事業・不動産売却収入	6	57	57
フリー・キャッシュ・フロー(1+2)	42	55	104
3. 財務活動によるCF	△58	128	86
借入金純増減	△48	△21	△14
CB・SB発行(償還)		150	100
配当金の支払	△10		
現預金の期末残高	335	347	352

単位:億円
△:減少

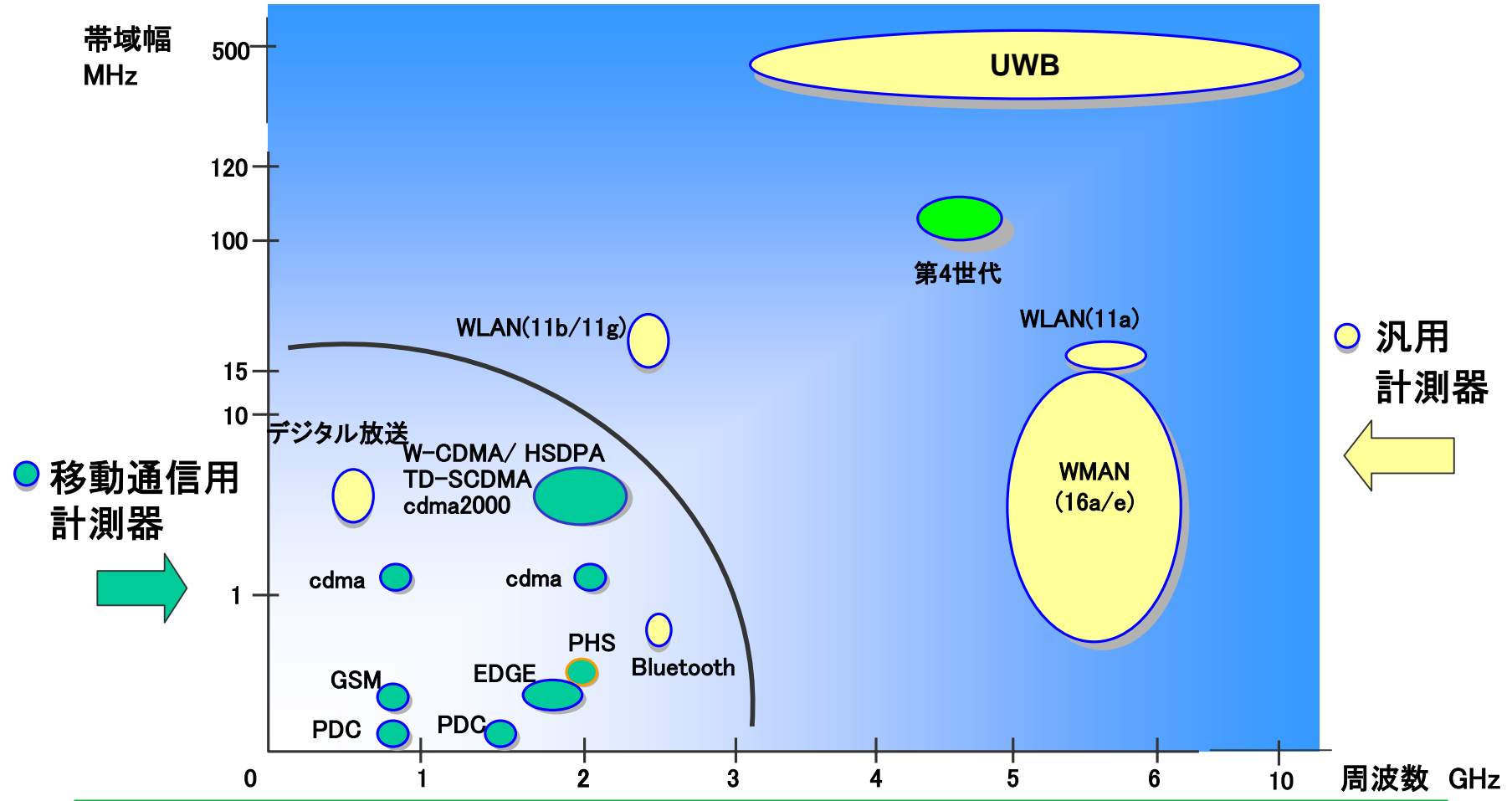
主な項目
のみ表記

棚卸残高推移(連結)



今後の事業展開 (1/4)

ユビキタス社会実現に向けたワイヤレス計測技術の提供



Discover What's Possible™

Anritsu

- **移動通信用計測器**
携帯の市場動向

日本

NTTドコモのFOMA*の加入者数 12月末 900万突破
HSDPA*の開発の本格化

欧州

UMTS*のサービスイン: 35事業者(04年11月末)

米国

シンギュラーのUMTS、HSDPAサービス計画(05年)

アジア

欧州向け端末の製造本格化
中国の3Gライセンスは05年後半か

- 移動通信用計測器

- 3G、3.5G用計測器に対するアンリツの取り組み

- 開発用

- 日・米・欧 アプリケーションソフト開発用テスト
日本の大手メーカー中心
HSDPA用シグナリングテスト
大手端末・チップセットメーカー

- 製造用

- アジア 欧州、米国向けUMTS端末
中・韓・台ローカルメーカー

- 保守用

- 日本 ドコモショップ向けサービステスター
欧 通信事業者、販売・サービス会社からの引合増大

- 基地局建設・保守用

- 全世界 サイトマスタ、セルマスタ

Wireless用計測器 幅広い製品群の提供

移動及び汎用の新製品 **New** 投入

GSM, GPRS, EDGE, CDMA2K, W-CDMA, HSDPA, W-LAN, Bluetooth

Research
Development

Conformance Test

Manufacturing

Maintenance
Local Service



Signaling Tester
MD8480B

New



Application
MD8470A



PTS/VST



Rapid Test
Designer
MX786201A



Conformance Test
ME7873A



Radio
Communication
Analyzer
MT8820A



Service Tester
MT8510B
Shield Box
MA8120C



Service Tester
MT8510B
Shield Box
MA8120C



Digital Modulation
SG
MG3681A

New



DMR Transmitter
Tester
MS8608/9A



Vector
SG
MG3700A



802.11 WLAN
Integrated Test Set
MT8860A



Bluetooth Test Set
MT8850A/52A



Bluetooth Test Set
MT8850A/52A



Digital
Modulation SG
MG3681A



DMR Transmitter
Tester
MS8608/9A



Signaling Tester
MD8480B



Radio Communication
Analyzer
MT8820A



W-CDMA (UMTS)
Area Tester
ML8720B



Radio Communication
Analyzer
MT8820A

New



Power Meters
ML2480A Series



High Performance
Signal Analyzer
MS2781A



Spectrum Analyzer
MS2681A/83A



Synthesized
CW Generator
MG3690A Series



Vector Network
Measurement System
MS4622/23/24 Series



Spectrum
Master
MS2721A

New



Cell Master
MT8212B

Discover What's Possible™

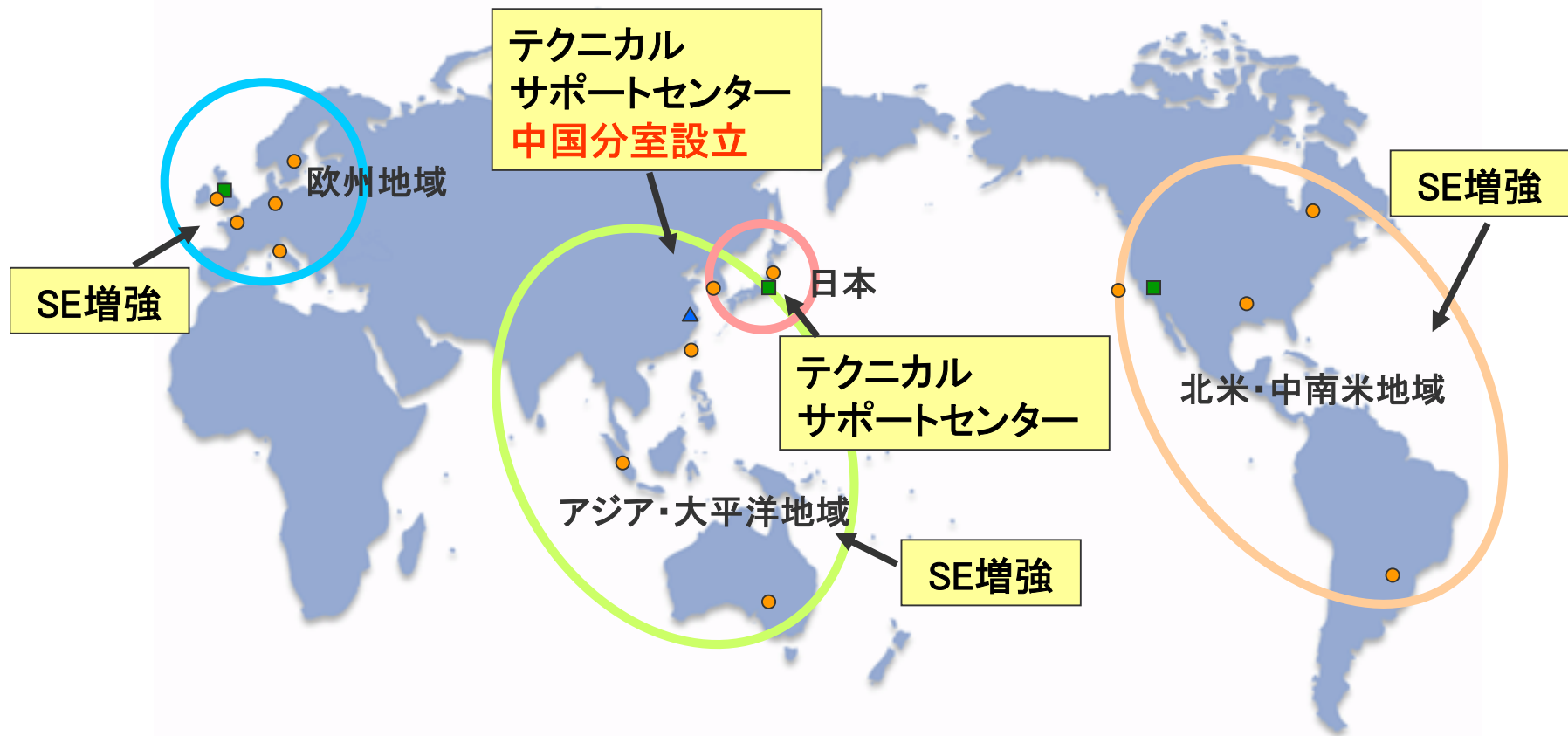
Anritsu

グローバル顧客サポート

■ 開発・製造

● 販売、サービス

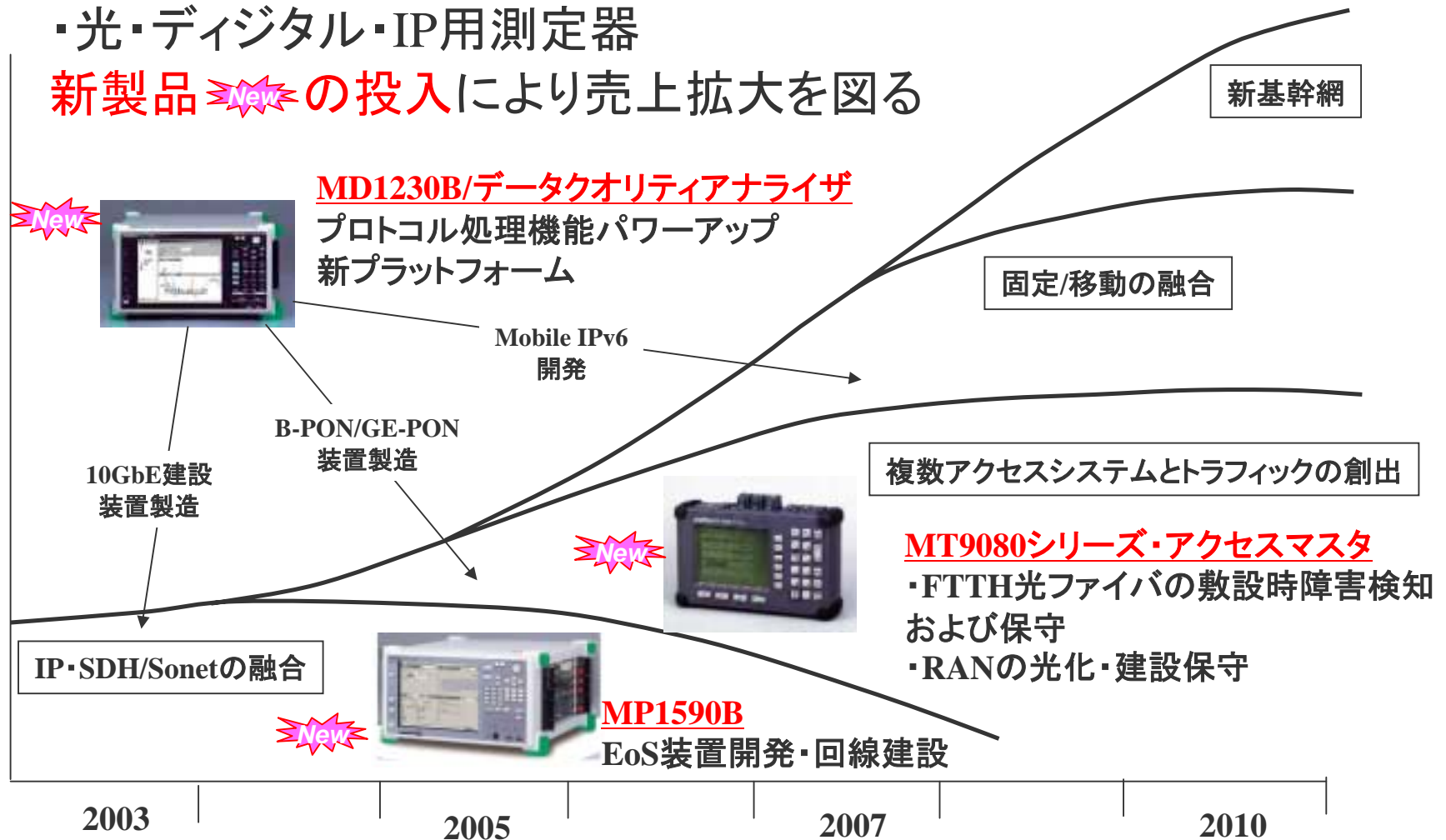
▲ 技術、サポート



今後の事業展開(2/4)

・光・デジタル・IP用測定器

新製品 **New** の投入により売上拡大を図る



Discover What's Possible™

EoS: Ether Over Sonet
 RAN: Radio Access Network

Anritsu

今後の事業展開(3/4)

情報通信機器

04年度の状況 売上予測 **15億円減**

官公庁通信設備予算の遅れ

昨年続発した台風などによる災害復旧事業への一時的な費用シフト

PureFlow売上進捗遅れ

客先での評価段階継続



今後の展開

官公庁市場 — 需要動向の変化に対応


映像監視システムのIP化需要継続

監視業務支援システムを含めた**システム提案を継続**

民需市場 — Sler、キャリア市場の積極的な開拓

Sler、プライムメーカーに対する**システムサプライ**



キャリア・ISP市場 — **新製品**  の投入

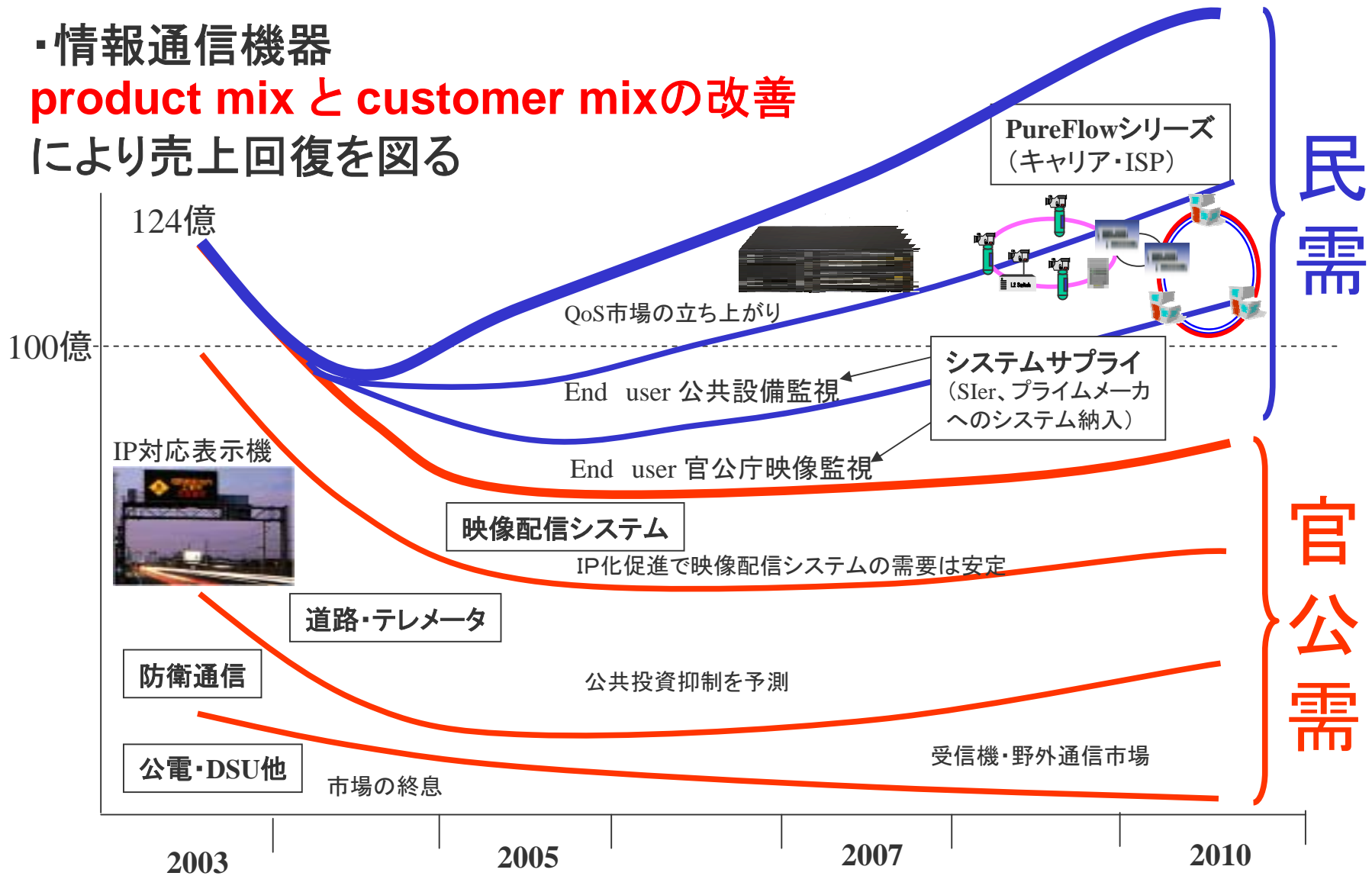
PureFlowの機能拡張等、市場要求に対応



PureFlow FS10フェアシェア 1月発表

特定ユーザーの帯域占有を回避するための公平帯域制御機能を搭載

・情報通信機器
product mix と customer mixの改善
 により売上回復を図る



今後の事業展開(4/4)

- 産業機械
 - X線異物検出機の拡販
 - 海外への展開
 - 米国、英国に現地法人、
 - タイに駐在員事務所を新たに開設

– 新製品 **New** の投入

パイプ型 X線異物検出機 KD7381AW



2005年3月期 年度業績見通し

(1) 損益及びキャッシュ・フロー

単位: 億円 ()は前年同期比増減額 △: 損失

	当期見通し				前期実績	
	連結		単独		連結	単独
売上高	850	(+66)	505	(+30)	784	475
営業利益	50	(+32)	21	(+19)	18	2
経常利益	30	(+55)	12	(+36)	△ 25	△ 24
税引前利益	30	(+11)	13	(-3)	19	16
当期純利益	17	(+6)	13	(+0)	11	13
FCF	70	(-34)	40	(-59)	104	99

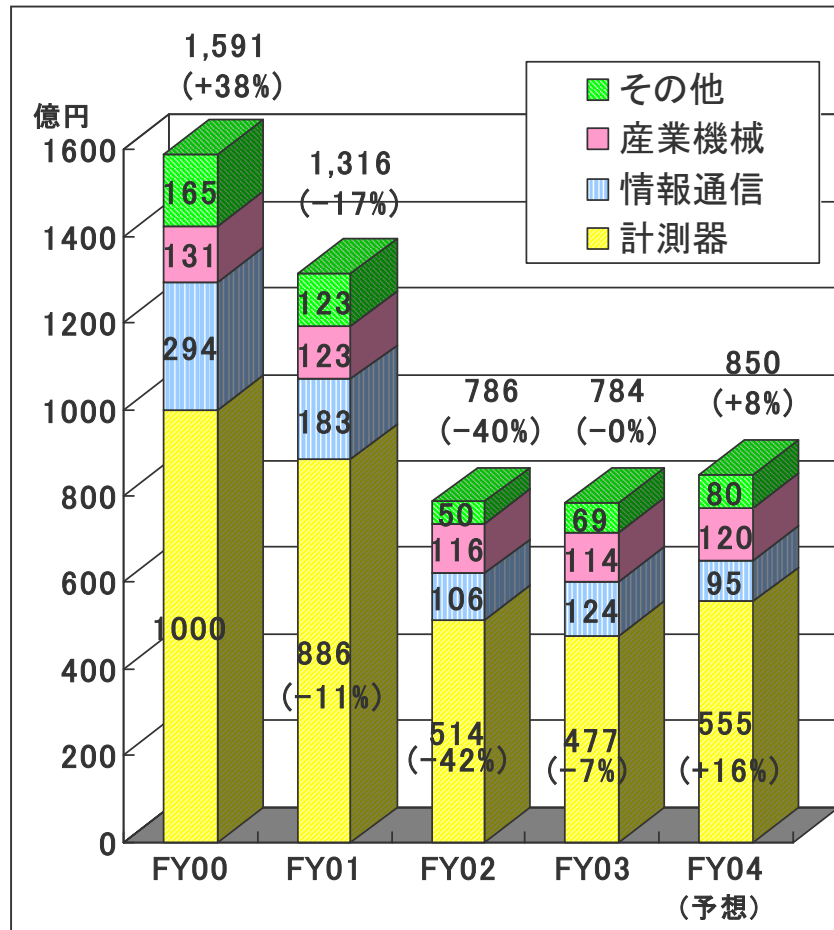
(2) 事業セグメント別(連結)

単位: 億円 ()は前年同期比増減額 △: 損失

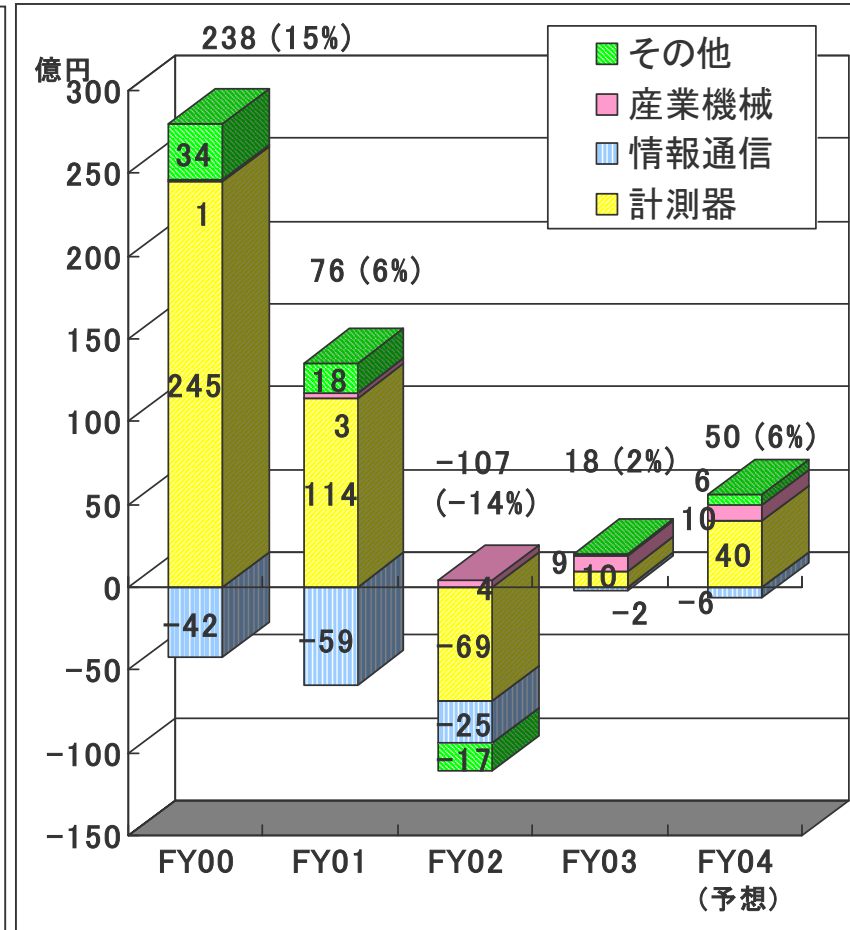
	当期見通し				前期実績	
	売上高		営業利益		売上高	営業利益
計測器	555	(+78)	40	(+30)	477	10
情報通信	95	(-29)	△ 6	(-4)	124	△ 2
産業機械	120	(+6)	10	(+1)	114	9
その他	80	(+11)	6	(+5)	69	1
計	850	(+66)	50	(+32)	784	18

(3) 配当 1株につき7円(中間配当3円50銭)の予定

事業セグメント別業績見通し(連結)



売上高 (%): 対前期伸率



営業利益 (%): 営業利益率

注記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。